

高松市立山田中学校 道徳便り 2023



少しずつ気温が上がり始め、夏の訪れを感じる季節になりました。先日、3年ぶりに1、2、3年生合同の運動会が行われました。どの生徒も生き生きとしていて、一生懸命に走ったり跳んだりする姿がとてもさわやかでした。クラスで心をつなげて取り組むすばらしさを実感できたことと思います。

さて、5月の道徳の週のテーマは「**藍（なかま）**」でした。運動会に向けて、集団の絆や相互理解の大切さを道徳の授業を通して学びました。

1年生 「アリのボール」



3000匹のアリがナイル川をどうやって渡るのかを各自で考え、グループで意見交換をしました。束になって回転しながら（支え合いながら）渡っていくことを知り、なかまと協力することの大切さを学びました。

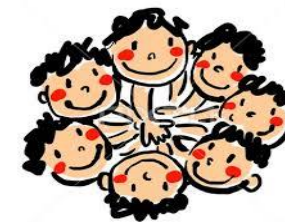
- 「自分だけ・・・」、「楽（らく）したい・・・」などと思っていたら集団に支障が出てしまう。みんなの心を1つに行動することの大切さが分かった。
- このアリたちのように、みんな一人一人が力を合わせて、一つのことを成し遂げる大切さを感じました。自分に与えられた役割をきちんと果たしたいです。
- 「一人はみんなのためにみんなは一人のために」運動会では、一人が失敗しても責めることなく、やる気の出る言葉かけができたらいいなあと感じました。
- 集団行動の大切さを改めて実感することができました。そして、自分がこのクラスに少しでも貢献できるように頑張ります。
- 一人の力ではできることが少ないけれど、みんなで力を合わせ、互いに助け合い協力することで大きな事を成し遂げることができると分かりました。絆を深め合いながら楽しい学校生活を送りたいです。

ご意見欄

お名前

高松市立山田中学校道徳便り6月（2023）

2年生 「小さい「つ」が消えた日」



五十音村の小さい「つ」が家出をしたことで、言語が伝わらなくなり人間界がパニックになります。最初はバカにしていた村人たちが、必死で探しはじめるようになった気持ちの変化を考えることで、集団にいる一人ひとりの大切さについて学びました。

- 五十音村の文字たちのように、必要のない人やものなどはないと思いました。なにかを馬鹿にしたり、のけものにしたりすることはだめだということがわかりました。小さい「つ」のように、「自分はいらぬんだ」と悲しむ人が出てこないように日ごろの行動を考え直してみたいです。
- 私のやっているバレーボールは6人しか試合に出られないスポーツなのでベンチのときもあつたり、うまくいかないときもあつたりするけれど、自分を必要としてくれる人がいると信じて諦めないで進んでいきたいです。前向きになれるとてもよいお話でした。
- 消えても問題ない、心配ないと思っても、あとあと本当はとても大切なんだと気づくことはとてもいいことだと思いました。あれは必要、あれはいらぬと差別するのではなく、どれも大切なものだと思える気持ちが大事だと思いました。
- 人のために役立てる人がいなくなったらたくさんの人が悲しみ後悔すると思います。日頃から感謝し、みんなで協力しながら生活していけば、毎日楽しい生活が送れると思います。

3年生 「アイツとオレ」



成績やスポーツ能力など、互いによく似ている「アイツ」と「オレ」。対照的な性格である二人の会話から、人と分かり合うこと大切さについて考えました。

- 人の意見に共感することができて、自分の考えが変わることもありました。交流することで、新しい意見が思いついて、考え方の視野が広がると思いました。
- すごいことを自慢したい気持ちは誰にでもあると思うけど、それをがまんして他の人のことを認めて思いやれるような人になりたいと思いました。自分の考えだけではなく、他の人の考えもお互いに分かり合えたら、もっといい人間関係が築けるようになると思うので、人と分かり合えるようになりたいです。
- 自分の行動や発言を見返して、自分のいいところをもっと伸ばせるようにしたいと思う。
- 人と分かり合うことで、自分では気づけない自分の悪いところが分かると思うので必要だと思った。また、自分の悪いところを素直に直す心も大切だと思った。これから自分のいいところ、悪いところに気づけるように、人とたくさん関わりたい。
- 人と分かり合ったら、いい考えがでてくるかもしれないし、新しい友達ができるかもしれないから大切だと思う。
- 自分の中では正しいと思っている行動でも、周りから見たら間違っているように見えたりするので、人と分かり合ったり、話し合ったりすることによって自分の間違いに気づくことができるのではないかと思います。